

ASAHI UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL OF DENTISTRY
2018



2018年度

朝日大学大学院 歯学研究科

博士課程

学 生 募 集 要 項

一般 / 社会人 / 長期履修学生

目 次

歯学研究科（博士課程）学生募集要項

一般入試	1
社会人入試	4
長期履修学生入試	6
入学試験共通事項	8

歯学研究科案内

1. 建学の精神	13
2. 沿革	13
3. アドミッション・ポリシー	15
4. カリキュラム・ポリシー	15
5. ディプロマ・ポリシー	15
6. 歯学研究科の概要	15
(1) 標準修業年限	
(2) 教育目的	
(3) 教育課程の内容	
(4) 修了の要件、学位	
(5) 指導教員一覧	
(6) 主な研究内容	
(7) 本研究科で目指すことが可能な主な資格	
(8) 社会人学生の履修例	
(9) 長期履修学生の履修例	
7. 長期履修制度	33

歯学研究科（博士課程）学生募集要項

一般入試（外国人留学生含）

1. 標準修業年限

4 年

2. 募集人員

歯学研究科 歯学専攻 18人（社会人入試、長期履修学生入試を含む。）

3. 出願資格

- (1) 大学の歯学、医学、薬学（6年課程）又は獣医学に関する学科を卒業した者及び2018年3月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了した者及び2018年3月までに修了見込みの者
- (3) 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了したとされる者に限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) その他本大学院において、前各号に定める者と同等以上の学力があると認めたる者

※ 主専攻科目として高度口腔医療科学を選択する者は、2005年以前の歯科医師国家試験若しくは医師国家試験の合格者又は2006年以降の同試験合格者で歯科医師法第16条の2若しくは医師法第16条の2に定める臨床研修の修了者（修了見込みを含む）とします。

4. 出願期間・試験日・合格発表日等

	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日	入 学 手 続 締 切 日
I 期	2018年 1月 9日(火) ～ 1月16日(火)	2018年 1月20日(土)	2018年 2月 2日(金)	2018年 2月 9日(金)
II 期	2018年 2月20日(火) ～ 2月27日(火)	2018年 3月 3日(土)	2018年 3月16日(金)	2018年 3月23日(金)

5. 試験地・試験場

朝日大学 1号館

6. 試験科目・時間割

I期、II期共通

試験科目	試験時間
英語 (TOEIC IP)	9:00～11:30
主専攻科目 (筆記)	11:50～12:50
主専攻科目 (口述)	14:00～15:00

(注1) 「英語 (TOEIC IP)」の試験は、辞書持込み不可。

(注2) 以下のいずれかの外国語試験の資格を有する者については、英語の語学能力証明書 (公式スコア表の原本) を出願時に提出することにより、入学試験の英語 (TOEIC IP) を免除します。

<外国語試験の資格>

- (1) CEFR: B2以上
- (2) 英検: 準1級以上
- (3) TOEIC: 750点以上
- (4) IELTS: 6.0以上
- (5) PBT TOEFL: 550以上
- (6) iBT TOEFL: 80以上

*ただし、TOEIC IPテスト、TOEFL ITPテストの結果は除きます。

*公式スコアの取得年月日は問わない。

(注3) 外国人留学生のうち、母国語が「英語」の者については、入学試験の英語 (TOEIC IP) を免除します。

7. 選抜方法

学力検査、成績証明書等により総合判定します。

8. 出願書類

① 入学願書・履歴書 (所定)

主専攻科目は、1科目選択し必ず記入してください。(17ページ参照)

② 成績証明書 (出身大学において作成し、厳封したもの)

③ 卒業 (見込) 証明書または修了 (見込) 証明書 (本学卒業 (見込) 者は提出不要です。)

④ 受験票及び写真票 (所定)

写真票にはタテ4cm×ヨコ3cm、上半身、脱帽、正面向、出願前3か月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入のうえ、貼付してください。

⑤ 英語の語学能力証明書 (公式スコア表の原本)

⑥ 在留カード (写) (外国籍の出願者のみ)

⑦ 住民票 (外国籍の出願者のみ)

⑧ 身元保証書 (在留資格「留学」で入学しようとする外国人留学生のみ) (所定)

⑨ 経費支弁書 (在留資格「留学」で入学しようとする外国人留学生のみ) (所定)

(注1) 出願書類に記載された個人情報については、入学試験、入学手続及び統計調査に関すること以外には使用することはありません。

(注2) 提出された英語の語学能力証明書(公式スコア表の原本)は、入学試験終了後、返却します。

(注3) 出願に際しては、予め志望する主専攻科目の指導教員と面談のうえ、研究指導方針等についてご確認ください。

連絡先等については、朝日大学学事部学事一課大学院係(058-329-1072)にお問い合わせください。

(注4) 身体に障がい(視覚障害、聴覚障害、言語障害、四肢運動障害)又は健康上の問題等がある方は、受験上の特別な措置又は修学上の特別な配慮が必要となる場合がありますので、予めお申し出ください。

9. 入学検定料

20,000円

社会人入試

1. 標準修業年限

4 年

2. 募集人員

歯学研究科 歯学専攻 18人（一般入試、長期履修学生入試を含む。）

3. 出願資格

出願時において職業を有し、入学後もその身分を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学の歯学、医学、薬学（6年課程）又は獣医学に関する学科を卒業した者及び2018年3月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了した者及び2018年3月までに修了見込みの者
- (3) 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了したとされる者に限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) その他本大学院において、前各号に定める者と同等以上の学力があると認めたる者

※ 主専攻科目として高度口腔医療科学を選択する者は、2005年以前の歯科医師国家試験若しくは医師国家試験の合格者又は2006年以降の同試験合格者で歯科医師法第16条の2若しくは医師法第16条の2に定める臨床研修の修了者（修了見込みを含む）とします。

4. 出願期間・試験日・合格発表日等

	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日	入学手続締切日
I 期	2018年 1月 9日(火) ～ 1月16日(火)	2018年 1月20日(土)	2018年 2月 2日(金)	2018年 2月 9日(金)
II 期	2018年 2月20日(火) ～ 2月27日(火)	2018年 3月 3日(土)	2018年 3月16日(金)	2018年 3月23日(金)

5. 試験地・試験場

朝日大学 1号館

6. 試験科目・時間割

I 期、II 期共通

試験科目	試験時間
主専攻科目（筆記）	11:50～12:50
主専攻科目（口述）	14:00～15:00

7. 選抜方法

学力検査、成績証明書等により総合判定します。

8. 出願書類

① 入学願書・履歴書（所定）

主専攻科目は、1科目選択し必ず記入してください。（17ページ参照）

② 成績証明書（出身大学において作成し、厳封したもの）

③ 卒業（見込）証明書または修了（見込）証明書（本学卒業（見込）者は提出不要です。）

④ 在職（予定）証明書（所定）又は就業を確認できる書類

⑤ 受験票及び写真票（所定）

写真票にはタテ4cm×ヨコ3cm、上半身、脱帽、正面向、出願前3か月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入のうえ、貼付してください。

⑥ 在留カード（写）（外国籍の出願者のみ）

⑦ 住民票（外国籍の出願者のみ）

（注1） 出願書類に記載された個人情報については、入学試験、入学手続及び統計調査に関すること以外には使用することはありません。

（注2） 出願に際しては、予め志望する主専攻科目の指導教員と面談のうえ、研究指導方針等についてご確認ください。

連絡先等については、朝日大学学事部学事一課大学院係（058-329-1072）にお問い合わせください。

（注3） 身体に障がい（視覚障害、聴覚障害、言語障害、四肢運動障害）又は健康上の問題等がある方は、受験上の特別な措置又は修学上の特別な配慮が必要となる場合がありますので、予めお申し出ください。

9. 入学検定料

20,000円

長期履修学生入試

1. 標準修業年限

職業を有している等の事情により標準修業年限である4年を超えて、長期にわたる教育課程の履修を認められた者（長期履修学生）の標準修業年限は、当該許可された期間となります。

2. 募集人員

歯学研究科 歯学専攻 18人（一般入試、社会人入試を含む。）

3. 出願資格

職業を有している等の事情により、標準修業年限である4年では大学院の教育課程の履修が困難な者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学の歯学、医学、薬学（6年課程）又は獣医学に関する学科を卒業した者及び2018年3月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了した者及び2018年3月までに修了見込みの者
- (3) 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学、医学、薬学又は獣医学）を修了したとされる者に限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) その他本大学院において、前各号に定める者と同等以上の学力があると認めた者

※ 主専攻科目として高度口腔医療科学を選択する者は、2005年以前の歯科医師国家試験若しくは医師国家試験の合格者又は2006年以降の同試験合格者で歯科医師法第16条の2若しくは医師法第16条の2に定める臨床研修の修了者（修了見込みを含む）とします。

4. 出願期間・試験日・合格発表日等

	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日	入学手続締切日
I 期	2018年 1月 9日(火) ～ 1月16日(火)	2018年 1月20日(土)	2018年 2月 2日(金)	2018年 2月 9日(金)
II 期	2018年 2月20日(火) ～ 2月27日(火)	2018年 3月 3日(土)	2018年 3月16日(金)	2018年 3月23日(金)

5. 試験地・試験場

朝日大学 1号館

6. 試験科目・時間割

I 期、II 期共通

試験科目	試験時間
主専攻科目（筆記）	11:50～12:50
主専攻科目（口述）	14:00～15:00

7. 選抜方法

学力検査、成績証明書等により総合判定します。

8. 出願書類

- ① 入学願書・履歴書（所定）
主専攻科目は、1科目選択し必ず記入してください。（17ページ参照）
- ② 長期履修許可願（所定）
- ③ 長期履修計画書（所定）
- ④ 成績証明書（出身大学において作成し、厳封したもの）
- ⑤ 卒業（見込）証明書または修了（見込）証明書（本学卒業（見込）者は提出不要です。）
- ⑥ 在職（予定）証明書（所定）又は就業が確認できる書類あるいは所定の修業年限（4年）では大学院の教育課程の履修が困難であることの申立書
- ⑦ 受験票及び写真票（所定）
写真票にはタテ4cm×ヨコ3cm、上半身、脱帽、正面向、出願前3か月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入のうえ、貼付してください。
- ⑧ 在留カード（写）（外国籍の出願者のみ）
- ⑨ 住民票（外国籍の出願者のみ）
（注1） 出願書類に記載された個人情報については、入学試験、入学手続及び統計調査に関すること以外には使用することはありません。
（注2） 出願に際しては、予め志望する主専攻科目の指導教員と面談のうえ、研究指導方針等についてご確認ください。
連絡先等については、朝日大学学事部学事一課大学院係（058-329-1072）にお問い合わせください。
（注3） 身体に障がい（視覚障害、聴覚障害、言語障害、四肢運動障害）又は健康上の問題等がある方は、受験上の特別な措置又は修学上の特別な配慮が必要となる場合がありますので、予めお申し出ください。

9. 入学検定料

20,000円

入学試験共通事項

■ 出願手続

■ 受験上の注意

■ 合格発表

■ 入学手続

■ 学費・諸納付金

■ 出願手続

1. 出願書類の提出先

朝日大学 学事部学事一課大学院係（〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851）

2. 出願方法

出願は、本学所定の出願書類送付用封筒に出願書類を一括同封のうえ、出願期間内に郵送又は学事部学事一課窓口へ直接持参してください。持参の場合の受付時間は次のとおりです。

平日	：	9：00～17：00	土曜日	：	9：00～13：00
〈日曜日、祝祭日は受付しません。〉					

3. 出願上の注意

- (1) 出願書類に記入もれ等の不備がないよう十分注意してください。
- (2) 外国籍の者は、在留カード記載の氏名を記入してください。ただし、日本名を登録してある者は、日本名を用いることもできます。この場合は、すべての出願書類は同一の氏名で統一してください。
- (3) 一度受け付けた出願書類は理由のいかんにかかわらず返却しません。

4. 入学検定料納付上の注意

納付方法は、次のとおりです。

- (1) 入学検定料振込依頼書 **C** 票で最寄りの金融機関から**電信扱い**で振り込んでください。
郵便局からの振り込みはできません。
- (2) 入学願書等の **A** 票～ **C** 票に必要事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関の窓口へ提出してください。
- (3) 払い込み後 **A** 票と **B** 票を受け取り、**A** 票と **B** 票に金融機関の収納印があるかを確認し、**B** 票は本人が保管してください。
- (4) いったん納付した入学検定料は返還いたしません。

5. 受験票

出願書類受付後、本学で作成し郵送します。試験当日は必ず持参してください。

※ 試験日の前日までに受験票が届かない場合は、試験当日に学事部学事一課大学院係（1号館1階）へ申し出て
ください。

■ 受験上の注意

交通について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試験場及び試験場までの交通手段、所要時間については、事前に確認しておいてください。 ○ 悪天候等による交通機関への影響に充分留意し、遅刻のないように注意してください。 	
持参する物	受験票	受験票を忘れた場合、また、試験日の前日までに受験票が届かなかった場合は、試験当日に学事部学事一課へ申し出てください。
	筆記用具	HBの鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム
	時計	基本的に試験室には時計がありません。時刻、日及び曜日表示以外の機能を持つ時計を持ち込むことはできません。また、携帯電話を時計として使用することもできません。
試験室への案内	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試験室への案内は、入学試験当日、掲示・係員の案内等により行います。 ○ 入学試験前日の下見は建物の確認のみで、試験室には入れません。 	
試験室の入退室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試験開始30分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。 ○ 携帯電話は、試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。 ○ 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。なお、30分以降の遅刻は欠席者とみなし受験できません。ただし、遅刻の理由が公共交通機関の事故等による場合は、係員にその旨申し出て指示に従ってください。 	
受験中の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試験室では、全て監督者の指示に従ってください。 ○ 試験室では、受験票を机の上に提示してください。 ○ 試験時間中に中途退室することはできません。 *ただし、試験中に発病、トイレ等やむを得ない事由が生じた時は、監督者に申し出て指示に従ってください。一時退室した分の試験時間の延長はしません。 ○ 入退室の際は、受験票を携帯してください。 ○ 解答用紙に、受験番号及び氏名等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病気で通常の試験室での受験に支障があると思われる場合には、事前に朝日大学学事部学事一課大学院係へお申し出ください。状況により受験に際して特別措置を講ずることがあります。 	

■ 合格発表

本学構内に合格者の受験番号を掲示します。合格者には、合格通知書及び入学手続案内書を郵送します。なお、合否についての電話での問い合わせには、応じません。

■入学手続

合格者は、「入学手続案内書」に基づき、入学手続締切日までに、必要な書類の提出及び学費・諸納付金を納付してください。

■学費・諸納付金

(1) 学 費

①高度口腔医療科学コース

納付時期 費 目	入 学 年 度 納 付 金 額		2 年次以降納付金額(年額)	
	入学手続期間内	2018年10月1日から 2018年10月31日まで	4 月	備 考
入 学 金	*200,000円	—————	—————	4月、10月に分割納付することができます。
授 業 料	375,000円	375,000円	750,000円	
実 習 費	25,000円	25,000円	50,000円	
合 計	600,000円	400,000円	800,000円	

*印は、入学年度のみ納付する。本学歯学部卒業生は、免除となります。

②口腔生命科学コース

納付時期 費 目	入 学 年 度 納 付 金 額		2 年次以降納付金額(年額)	
	入学手続期間内	2018年10月1日から 2018年10月31日まで	4 月	備 考
入 学 金	*200,000円	—————	—————	4月、10月に分割納付することができます。
授 業 料	375,000円	375,000円	750,000円	
合 計	575,000円	375,000円	750,000円	

*印は、入学年度のみ納付する。本学歯学部卒業生は、免除となります。

※ 長期履修学生の授業料の年額は、通常の授業料の年額に標準修業年限（4年）を乗じて得た額を、許可された履修年数で除した額（その額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額）となります。

※ 外国人留学生に対する学費減免制度があります。詳しいことは朝日大学学事部学事一課大学院係（058-329-1072）にお問い合わせください。

(2) 諸納付金

納付時期 費 目	入学手続期間内	2年次以降納付金額 (4月)
学生保障制度維持費	3,500円	3,500円

一旦、提出又は納入した書類、学費・諸納付金は返還いたしません。ただし、入学を辞退する場合は、2018年3月30日（金）13時までに文書（本大学院所定の用紙）で申し出れば、学費・諸納付金のうち入学金以外を返還します。

歯学研究科案内

1. 建学の精神

本学の建学の精神は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間の知性に富む人間を育成することにある。

社会性について

人類共存の理念は、今や地球の資源・環境問題をはじめ高齢化社会に伴う労働問題、先進国の国際経済問題、発展途上国の社会経済問題など、解決すべき諸問題に直面している。これらの課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、国際性と社会性に富む人間、和を重んずる心豊かな人間を育成する。

創造性について

人類は、科学・技術のめざましい発展により、物質的豊かさを獲得したが、この科学・技術の発展はまた、豊かな人間性の涵養に資するものでなくてはならない。

先端的科学の進歩と豊かな人間性との調和を図るため人類は創造的英知を発揮する必要がある。

本学は、このため自然科学と人文・社会科学、その他芸術との学際的協力により、専門的かつ総合的な教育・研究活動を推進する。

人間的知性について

高度な産業化・情報化の社会を迎えて、人間の生活様式も価値観も激変している。この際、科学・技術の健全な発達を図る反面、技術の独走が警戒される。従って人類普遍の理念としての人間性の発揚を志し、自己を確立し、人権と自由を尊重する調和ある国際未来社会を建設するの必要のため、新しい人間的知性の涵養を企図するものである。

2. 沿革

- 1971年 4月 ◆岐阜歯科大学開設
- 1971年 5月 ◆岐阜歯科大学附属病院開設
- 1973年 4月 ◆岐阜市内にある村上外科病院が本学に寄付され、本学附属村上記念病院となる
岐阜歯科大学附属歯科衛生士学校を開設
- 1973年11月 ◆ニューヨーク州立大学バッファロー校歯学部（アメリカ）と姉妹校協定を締結
- 1977年 4月 ◆岐阜歯科大学大学院歯学研究科開設（歯学専攻、博士課程）
附属歯科衛生士学校から附属歯科衛生士専門学校に名称変更
- 1979年 7月 ◆岐阜歯科大学歯科臨床研究所附属歯科診療所開設
- 1982年 4月 ◆オカンボ記念大学歯学部（フィリピン）と姉妹校協定を締結
- 1982年 6月 ◆中山医学大学（台湾）と姉妹校協定を締結
- 1984年 9月 ◆附属村上記念病院の新築移転
- 1984年11月 ◆北京大学口腔医学院（中国）と姉妹校協定を締結

- 1985年 4月 ◆経営学部経営学科開設
朝日大学に名称変更
朝日大学歯科衛生士専門学校に名称変更
- 1987年 4月 ◆法学部法学科開設
- 1988年 5月 ◆明海大学と姉妹校協定を締結
- 1989年 4月 ◆経営学部及び法学部に教職課程を併設
- 1990年10月 ◆フンボルト大学歯学部（ドイツ）と学術文化協力協定を締結
- 1991年 4月 ◆経営学部情報管理学科開設、同学科に教職課程を併設
- 1992年 4月 ◆大学院法学研究科開設（法学専攻、博士前期（修士）課程）
同研究科に教職課程を併設
- 1992年 7月 ◆カルフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部（アメリカ）と文化学術交流協定を締結
- 1993年 6月 ◆メキシコ州立自治大学歯学部（メキシコ）と姉妹校協定を締結
- 1994年 4月 ◆大学院法学研究科に博士後期（博士）課程開設
- 1995年 4月 ◆大学院経営学研究科開設（情報管理学専攻、博士前期（修士）課程）
同研究科に教職課程を併設
- 1997年 4月 ◆大学院経営学研究科に博士後期（博士）課程開設
- 1997年10月 ◆朝日大学名古屋サテライトを開設
ケベック大学モンリオール校（カナダ）と一般合意協定を締結
- 2001年 4月 ◆朝日大学留学生別科を開設
- 2001年 7月 ◆第四軍医大学口腔医学院（中国）と姉妹校協定を締結
- 2002年 4月 ◆経営学部ビジネス企画学科開設、同学科に教職課程を併設
- 2006年 5月 ◆トゥルク大学歯学部（フィンランド）と文化学術交流協定を締結
- 2007年 4月 ◆朝日大学歯科臨床研究所附属歯科診療所を朝日大学歯学部附属病院に統合し、朝日大学歯学部附属病院PDI岐阜歯科診療所に改める
- 2007年 6月 ◆朝日大学歯学部附属病院PDI岐阜歯科診療所を新築移転
- 2008年 4月 ◆シエナ大学歯学部（イタリア）と文化学術交流協定を締結
- 2012年 4月 ◆経営学部情報管理学科の名称を経営学部経営情報学科に改める
◆村上記念病院西館増築・総合健診センターを移転
- 2014年 4月 ◆保健医療学部看護学科を開設
経営学部経営情報学科の学生募集を停止
大学院法学研究科博士後期課程（法学専攻）の学生募集を停止し、同研究科の課程名称を博士前期から修士に改める
大学院経営学研究科博士後期課程（情報管理学専攻）の学生募集を停止し、同研究科の課程名称を博士前期から修士に、併せて、同研究科の専攻名称を情報管理学から経営学に改める
- 2015年 3月 ◆朝日大学名古屋サテライトを閉鎖
ウェスタンケープ大学歯学部（南アフリカ共和国）と学術交流協定を締結
- 2015年 7月 ◆北京外国語大学（中国）と学術交流協定を締結
- 2015年 9月 ◆テキサス大学サンアントニオ校ヘルスサイエンスセンター歯学部（アメリカ）と学術交流協定を締結
- 2015年10月 ◆タフツ大学歯学部（アメリカ）と学術交流協定を締結
- 2016年 4月 ◆テキサス大学サンアントニオ校ヘルスサイエンスセンター看護学部（アメリカ）と学術交流に関する覚書を締結
アラバマ大学バーミングハム校歯学部（アメリカ）と文化学術交流協定を締結
- 2017年 4月 ◆保健医療学部健康スポーツ科学科を開設、同学科に教職課程を併設

3. アドミッション・ポリシー（入学者の受入方針）

歯学研究科は、歯科医学分野に関する基礎学力又は相当の経歴・経験を有する者で、同分野における幅広い学術研究の推進を目指し、自ら研究に取り組む意欲を有するとともに、将来、研究者や教育者又は高度な臨床能力を身につけた歯科医師としての活躍を志す者を求めています。

4. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

歯学研究科は、歯学分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを教育目的としており、これを達成するため、次のとおり教育課程の編成方針を定め、それぞれの目的に応じた授業科目を開設することとしています。

- ① 自立した研究活動を遂行できる研究者の養成を目指し、生命科学に関し人体の機能や構造、生体材料に関する先端的研究内容について学ぶ授業科目を開設する。
- ② 高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を兼ね備えた臨床歯科医師の養成を目指し、最先端の歯科治療や高度に専門性を有する分野について学ぶ授業科目を開設する。

5. ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

歯学研究科は、教育目的に基づき、課程修了時に次のいずれかの到達目標を達成することを掲げています。本研究科に必要な年限在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に対して、博士（歯学）の学位を授与することとしています。

- ① 研究者として自立して研究活動を行うことができる。
- ② 臨床歯科医師として必要となる最先端の歯科治療技術又は高い専門性を有する分野の知識を身につけている。

6. 歯学研究科の概要

(1) 標準修業年限

歯学研究科の博士課程の標準修業年限は、4年とする。ただし、長期にわたる教育課程の履修を認められた者（長期履修学生）は、当該許可された期間を標準修業年限とする。

(2) 教育目的

歯学研究科の人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、歯学分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことである。

(3) 教育課程の内容

歯学研究科の教育課程の編成方針に基づき、「高度口腔医療科学」及び「口腔生命科学」の2つのコースを設定し、学生の将来の目標に向けた系統的な教育課程を編成している。

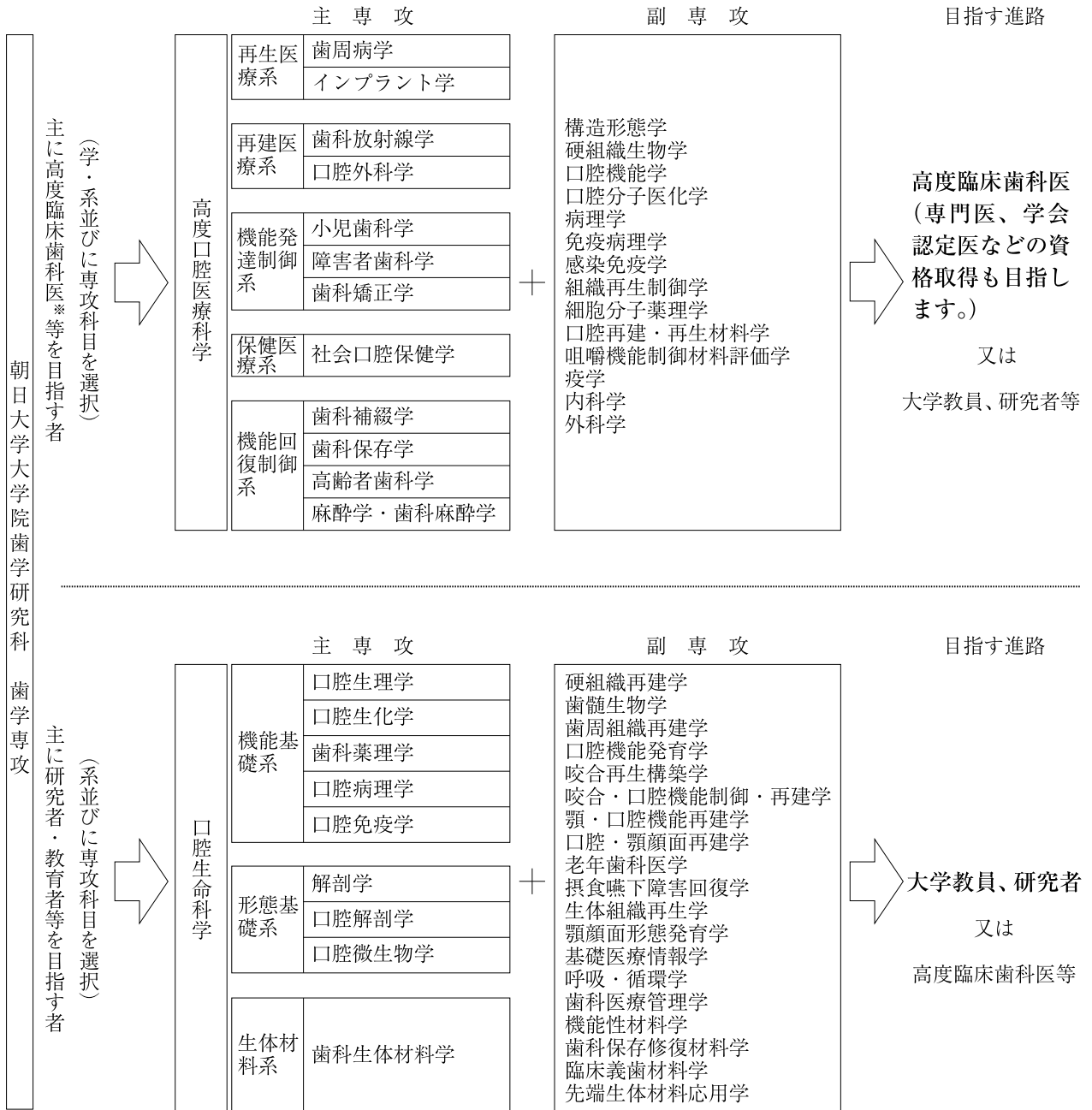
2つのコースには、次のとおり必要な授業科目を開設している。

ア. 「高度口腔医療科学」コースにおいては、「再生医療系」、「再建医療系」、「機能発達制御系」、「保健医療系」及び「機能回復制御系」に区分し、近年の歯科医学において最先端の治療方法である歯周組織再生などの歯周治療やインプラント歯科治療に関する知識・技術を学ぶ歯周病学、インプラント学、悪性腫瘍や顎変形症など口腔・顎・顔面領域の各疾患の病態、診断及び治療法について総合的に学ぶ口腔外科学のほか、現在の歯科治療において中心的に行われている口腔機能の回復や修復、審美的治療、成長・加齢に伴う様々な疾患に対する治療、予防管理などに関する知識、技術を学ぶ小児歯科学、障害者歯科学、歯科矯正学、歯科補綴学など12専攻の授業科目を開設している。

また、歯科医師として必要となる最先端の歯科治療技術又は高い専門性を有する分野の知識を習得するため、臨床歯科医学向上のための社会貢献活動として実施している、明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修（CE）のプログラムの中から、「クリニカル・ベーシックコース」及び「クリニカル・ステップアップコース」の受講を歯学研究科の授業科目として取り入れている。

イ. 「口腔生命科学」コースにおいては、「機能基礎系」、「形態基礎系」、「生体材料系」に区分し、歯科医学の基本となる生命科学について、硬組織や免疫・遺伝子、歯科生体材料などに関する知識と研究遂行の実践を総合的に学ぶ解剖学、口腔生化学、生体材料学など9専攻の授業科目を、それぞれ講義と実習により開設している。

教育課程の概要



※ 高度臨床歯科医 = 研究マインド並びに高度の臨床知識・技能を備えた歯科医師

※ 教育課程の主な特徴

- ・コースワークによる多面的かつ体系的な学習及び研究を進めていく。
- ・副専攻制度により基礎系と臨床系の双方の学修を行うことで総合的な知識・技能並びに研究能力を修得することができる。

高度口腔医療科学コースで受講する生涯研修プログラム

- クリニカル・ベーシックコース（必修科目）
- クリニカル・ステップアップコース（選択必修科目）

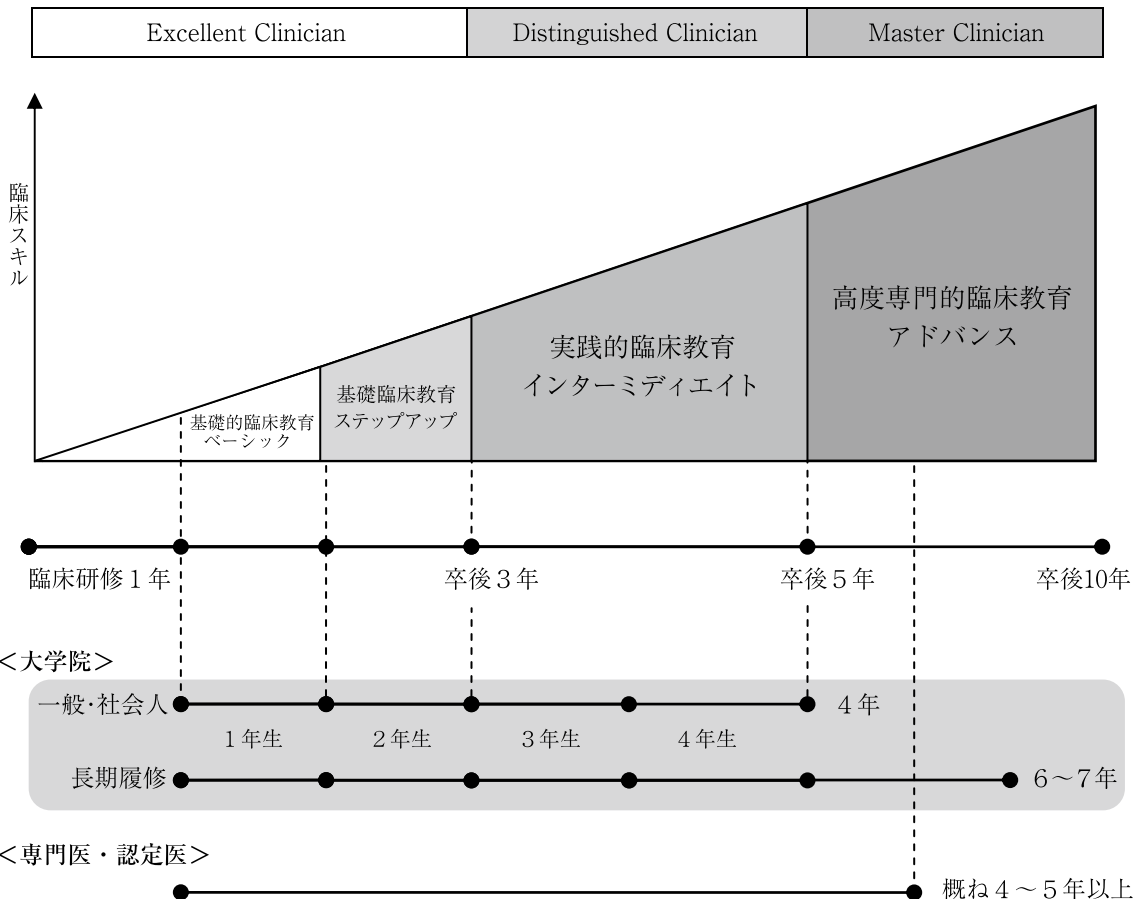
年次	共通教育	主専攻講義	主専攻実習	副専攻講義	研究指導
4年					学位論文作成
3年					学位論文作成
2年		4単位	8単位		研究
1年	4単位	4単位	8単位	4単位	研究
修了要件	4単位	8単位	16単位	4単位	

クリニカル・ベーシックコース
(必修)

クリニカル・ステップアップコース
(選択必修)

大学院と生涯研修（CE）概念図

< 歯科医師生涯研修 >



生涯研修プログラムの中から、歯学研究科の授業科目として受講するプログラム一覧

※2017年度開講の例。2018年度については、別途提示します。

●クリニカル・ベーシックコース（大学院1年生対象）

う蝕治療から補綴治療までの一般歯科治療の基礎（クリニカルベーシックセミナー）

●クリニカル・ステップアップコース（大学院2年生以上対象）

インプラント治療の基礎から学ぶコース

基本の歯周外科テクニック - 実習を中心としたテクニックの取得 -

プリアジャストエッジワイズ装置を用いた矯正歯科治療

明日から役立つ訪問診療 簡単にできる口腔ケアと摂食・嚥下機能療法のノウハウ

※指導教員と協議のうえ、希望するコースを受講できます。（受講料無料）

※プログラムの詳細については、歯科医師生涯研修部ホームページ（<http://www.m-a-univ-ce.com/>）を参照してください。

(4) 修了の要件、学位

本研究科に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、博士（歯学）の学位を授与する。

(5) 指導教員一覧

学	系	指導教員	主専攻科目
高度口腔医療科学	再生医療系	澁谷 俊昭 教授	歯周病学
		永原 國央 教授	インプラント学
	再建医療系	村松 泰徳 教授	口腔外科学
		住友伸一郎 教授	口腔外科学
		勝又 明敏 教授	歯科放射線学
	機能発達制御系	飯沼 光生 教授	小児歯科学
		北井 則行 教授	歯科矯正学
		玄 景華 教授	障害者歯科学
	保健医療系	友藤 孝明 教授	社会口腔保健学
	機能回復制御系	河野 哲 教授	歯科保存学
		堀田 正人 教授	歯科保存学
		石神 元 教授	歯科補綴学
		藤原 周 教授	歯科補綴学
		都尾 元宣 教授	歯科補綴学
		高井 良招 教授	高齢者歯科学
		智原 栄一 教授	麻酔学・歯科麻酔学
		櫻井 学 教授	麻酔学・歯科麻酔学
	口腔生命科学	機能基礎系	碓 哲崇 教授
近藤 信夫 教授			口腔生化学
永山 元彦 教授			口腔病理学
柏俣 正典 教授			歯科薬理学
形態基礎系		江尻 貞一 教授	解剖学
		滝川 俊也 教授	口腔解剖学
		村上 幸孝 教授	口腔微生物学
生体材料系		玉置 幸道 教授	歯科生体材料学

※指導教員一覧は2017年度のもので、2018年度以降変更になることがあります。

(6) 主な研究内容

指導教員	主な研究内容
教授 澁谷 俊昭	<ul style="list-style-type: none"> ◦ インプラント周囲炎の病態と治療法の開発 ◦ 破骨細胞活性からみた骨代謝の研究 ◦ 歯周組織再生療法の開発 ◦ 歯周組織の細胞間マトリックス成分の研究
教授 永原 國央	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 口腔領域での硬組織および軟組織再生療法（歯科インプラント治療を含む）の臨床への応用に関する基礎的研究
教授 村松 泰徳	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 口腔癌に対する抗癌剤化学療法に関する効果的投与法の開発および抗癌剤の選択 ◦ 顎顔面再建法の開発
教授 住友伸一郎	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 唾液腺腫瘍に関する基礎的、臨床的研究 ◦ 口腔領域の慢性疼痛に関する臨床的研究 ◦ e-ラーニングの歯学教育への応用
教授 勝又 明敏	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 歯科用ロボットの開発 ◦ 画像検査・診断システムの開発 ◦ 歯顎顔面の画像診断 ◦ 摂食嚥下障害の画像診断
教授 飯沼 光生	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 小児の顎口腔機能発達 ◦ 小児期のスポーツ外傷予防 ◦ 咀嚼と全身との関係 ◦ 小児の発音機能の発達 ◦ ストレスの海馬機能に及ぼす影響
教授 北井 則行	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 形成異常を有する患者および顎変形症の顎顔面の三次元形態に関する研究 ◦ CTおよびMRIを用いた矯正歯科治療診断システムの開発 ◦ 顎顔面軟組織の三次元形態に関する研究
教授 玄 景華	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 障がい者の行動調整法および対応に関する研究 ◦ 摂食嚥下リハビリテーションに関する診断・評価法への研究 ◦ 重症心身障害児・者への歯科的アプローチに関する研究 ◦ 障がい者の福祉医療および地域での医療連携に関する研究
教授 友藤 孝明	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 歯周病の進行を予測できるバイオマーカーの探索 ◦ 歯科疾患をターゲットとした核酸医薬品の開発 ◦ 抗酸化物を用いた抗加齢研究 ◦ 歯周病と非アルコール性脂肪性肝炎との関連の解明
教授 河野 哲	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 歯髄ならびに根尖歯周組織再生療法の開発 ◦ 生体材料を応用した根管治療 ◦ 難治性根尖性歯周炎の治療 ◦ ヒト歯髄幹細胞を用いた歯髄再生療法

指 導 教 員	主 な 研 究 内 容
教授 堀田 正人	<ul style="list-style-type: none"> ◦ レジンボンディングシステムの基礎的・臨床的研究 ◦ 変色歯に対する審美的対応に関する研究 ◦ 臨床う蝕学としてのリスクファクター分析・予防法 ◦ 修復材料の生体適合性に関する研究 ◦ 噴射研削・レーザー応用に関する研究
教授 平田 健一	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 歯科医学領域におけるレーザーの応用 ◦ マルチメディアの歯学教育への応用
教授 石神 元	<ul style="list-style-type: none"> ◦ CAD-CAMシステムによるオールセラミッククラウンの製作に関する研究 ◦ ブラキシズムの抑制策の検討 ◦ 顎関節症の臨床研究 ◦ TCH (Tooth Contacting Habit) が生体に及ぼす影響 ◦ 睡眠時無呼吸症の治療
教授 藤原 周	<ul style="list-style-type: none"> ◦ セラミックスの審美的応用 ◦ 口腔内細菌の補綴材への付着機序 ◦ 患者満足に関与する因子の研究 ◦ 無歯顎、インプラントを含む咬合再構成についての研究 ◦ 摂食嚥下リハビリテーションについての研究 ◦ 補綴治療と発音、発語の研究 ◦ 口腔ケアの疫学的研究
教授 都尾 元宣	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 咬合と運動 ◦ 義歯材料の臨床的評価と開発 ◦ マグネットの歯科への応用
教授 高井 良招	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 唾液腺化学発癌過程におけるがん遺伝子の検討 ◦ 高齢者および全身疾患を有する患者の安全な歯科治療法の検討 ◦ 抗血栓療法患者の安全な歯科治療法の検討
教授 智原 栄一	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 周術期病態生理学 手術侵襲に対する体性内臓反射における末梢血管反応（交感神経系）と胃収縮運動（副交感神経系）の反応様式の差異を検討する。特に使用薬物や麻酔手法（全身麻酔薬の種類・鎮痛性麻薬の種類・交感神経ブロックの有無など）とストレス反応の地域特異性の関係について臨床研究を行う。 ◦ 周術期合併症の予測と予防について 呼吸・循環器系の周術期合併症発生の予測因子の発見と予防法に関する検討

指導教員	主な研究内容
教授 櫻井 学	<p>アデノシン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 全身麻酔薬・鎮静薬の催眠鎮静作用におけるアデノシン受容体の関与 ◦ ピューリン受容体刺激による抗侵害刺激作用 ◦ ATPの抗炎症作用 <p>鎮静深度に影響を与える因子 精神的因子が末梢灌流へ与える影響</p>
教授 裕 哲崇	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 食行動調節機構に関する神経科学的研究 ◦ 味覚受容機構から味覚認知機構に関する神経科学的研究 ◦ 歯科医療に関わる心理生理学的事項に関する研究
教授 近藤 信夫	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 口腔疾患関連遺伝子の同定と診断への応用及び機能解析 ◦ 口腔癌患者免疫能の調節機構の解析と診断への応用 ◦ 間葉系幹細胞およびリン酸カルシウム系生体素材を用いた組織再生機構の解析
教授 永山 元彦	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 軟骨内骨化と膜性骨化における軟骨細胞の分化と成熟メカニズムについての研究 ◦ 骨格性の発育異常と原因との関連についての研究 ◦ 骨や歯の欠損部に対する人工骨補填材等の応用とその骨再生機序に関する研究
教授 柏俣 正典	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 器官形成における上皮-間葉相互作用の分子機構の解明 ◦ 唾液腺の分泌機能を制御する細胞内情報伝達機構の解明 ◦ 管状臓器の発生・維持における Rho GTP ase の役割
教授 江尻 貞一	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 骨組織（顎骨・歯槽骨）に関する組織学的・細胞生物学的研究 ◦ 哺乳類における咀嚼筋の機能形態学 ◦ 神経系の形態学的研究
教授 滝川 俊也	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 顔の形態形成における顔面突起癒合の異種性に関する研究 ◦ 口蓋突起癒合における癒合部上皮細胞の上皮-間葉分化転換の研究 ◦ 口蓋裂表現型の多様性を制御するエピジェネティック機構の研究 ◦ 口蓋裂発症および重症化抑制を標的とする予防的胎児薬物療法の開発
教授 村上 幸孝	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 口腔細菌の表層構造に関する生化学的・分子生物学的研究 ◦ 口腔細菌の病原性に関連する酵素・菌体成分の研究 ◦ 口腔細菌感染による宿主応答の解析 ◦ 宿主の微生物認識機構の研究

指 導 教 員	主 な 研 究 内 容
教授 玉置 幸道	<ul style="list-style-type: none"> ◦ リン酸カルシウム系生体材料の開発 ◦ 廃棄歯科材料の再利用・リサイクル ◦ ケイ酸カルシウム系材料の創製 ◦ 歯科鑄造用埋没材の研究と開発 ◦ 新しい骨移植材の開発 ◦ 生体材料の疲労破壊機構の研究 ◦ アパタイトの光触媒に関する研究 ◦ フッ化物含有各種歯科材料に関する研究
教授 大橋 宏重	<ul style="list-style-type: none"> ◦ CKDの病態 ◦ RAAS阻害薬を用いたCKDの治療 ◦ 蛋白尿、血尿からの腎疾患のアプローチ ◦ 透析症例の心血管合併症
教授 郭 泰彦	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 脳卒中の外科的治療 ◦ 脳神経血管内治療 ◦ 低侵襲脳神経外科治療の開発

※指導教員は2017年度のもので、2018年度以降変更になることがあります。

(7) 本研究科で目指すことが可能な主な資格

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本補綴歯科学会 専門医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年以上継続して学会在籍 ・ 認定機関で5年以上の診療・研究 ・ 認定研修（70単位以上） （学術大会への出席、関連領域の発表、診療実績等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 4年間研修施設での診療・研究 ・ 関連領域の疾患の診断及び治療の一部 	藤原教授 都尾教授 岡准教授 山村准教授 岩堀准教授 宇野講師 羽田講師
日本小児歯科学会 専門医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請時に継続して5年以上学会在籍 ・ 研修施設で別に定める研修を3年以上修めること ・ 研修単位を必要単位数取得していること ・ 専門医試験に合格すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年間の学会在籍 ・ 申請に必要な研修内容 ・ 申請に必要な研修単位 ・ 臨床経験 ・ 症例作成 ・ 学会発表 ・ 論文発表 	飯沼教授 長谷川 ^(信) 講師 近藤 ^(重) 講師
日本老年歯科医学会 専門医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請時に継続して5年以上の学会在籍 ・ 指導医の下で5年以上高齢者歯科医療に従事すること又はこれと同等以上の経歴を有すると認められること ・ 本会の認定医として、通算2年以上高齢者歯科医療に従事すること ・ 学会が主催する学術大会及び研修会への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 指導医の下での4年以上の高齢者歯科医療への従事 	高井教授 玄教授 安田 ^(順) 准教授
日本顎関節学会 専門医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して5年以上の学会在籍 ・ 5年以上の研修、診療実績 ・ 学会が主催する学術大会及び研修会への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 4年間の研修実績、診療実績の一部 ・ 学術大会への参加、発表 	高井教授
日本歯科保存学会 専門医、認定医	専門医 <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請期限の日に5年以上の学会在籍 ・ 所定の研修単位を満たすこと ・ 所定の業績を満たすこと ・ 歯科保存治療に携わっていること 認定医 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年以上の学会会員歴と研修機関での研修 ・ 所定の研修単位（20単位以上）を満たすこと ・ 歯科保存治療に携わっていること 	専門医 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 歯科保存治療に当ること ・ 要件単位のうち一部の修得 認定医 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年間の学会在籍と研修 ・ 歯科保存治療に携わること ・ 要件の研修単位の修得 	河野教授 堀田教授 澁谷教授

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本歯科放射線学会 専門医、認定医	専門医 ・ 5年以上の学会会員歴と研修機関での研修 ・ 歯科放射線認定医であること ・ 歯科放射線に関連する学術論文3編以上 ・ 読影報告書200例以上 認定医 ・ 2年以上の学会会員歴と研修機関での研修 ・ 歯科放射線に関連する学術発表あるいは学術論文1編以上 ・ 読影報告書50例以上	専門医 ・ 必要期間（5年）のうち4年分の研修 ・ 必要な学術発表あるいは学術論文 ・ 必要な読影報告書の作成 認定医 ・ 必要期間（2年）の研修 ・ 必要な学術発表あるいは学術論文 ・ 必要な読影報告書の作成	勝又教授 飯田講師
日本歯科麻酔学会 専門医、認定医	専門医 ・ 学会認定医であること ・ 申請の時点で継続して5年以上学会員で、かつ歯科麻酔分野の業務に5年以上専従していること ・ 最近5年間の臨床経験(100症例/年) ・ 日本歯科麻酔学会で口頭発表をした経験を有し、かつ3編（1編は筆頭著者）以上の論文あるいは総説を日本歯科麻酔学会雑誌に発表したもの ・ AHA認定ACLSコースを修了しているもの 認定医 ・ 2年以上にわたり歯科麻酔の研修をしたもの ・ 申請の時点で継続して2年以上学会会員であること ・ 学術論文を日本歯科麻酔学会雑誌に発表したもの ・ 臨床経験（全身麻酔200例、静脈内鎮静法50例）を有するもの ・ AHA認定BLSコースを修了しているもの	・ 4年間の学会在籍 ・ 4年間の歯科麻酔研修 ・ 学会発表 ・ 論文発表 ・ 臨床経験	智原教授 櫻井教授
日本歯周病学会 専門医、認定医	専門医 ・ 認定医に登録後、3年以上の会員であること ・ 研修施設で2年以上の歯周病学の研修と臨床経験を有すること ・ 認定医試験に合格した者 認定医 ・ 3年以上の会員であること ・ 研修施設に3年以上所属し、歯周病学の研修と臨床経験を有すること ・ 認定医試験に合格した者	・ 4年間研修施設での研究・臨床 ・ 4年間の学会在籍 ・ 臨床経験 ・ 症例作製 ・ 学会発表 ・ 論文発表	澁谷教授

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本口腔外科学会 専門医、認定医	専門医 ・ 6年以上継続して学会在籍 ・ 専修医資格取得者であること ・ 研修施設で6年以上口腔外科に関する診療に従事していること ・ 研修実績、診療実績および論文業績を有すること 等 認定医 ・ 2年以上継続して学会在籍 ・ 2年以上の研修実績 ・ 診療実績 等	・ 4年間の学会在籍 ・ 3年間の研修実績（4年＊3/4） ・ 診療実績の一部 ・ 論文業績の一部	高井教授 村松教授 住友教授 笠井准教授
日本口腔インプラント 学会専門医、専修医	専門医 ・ 5年以上継続して学会在籍 ・ 学会指定の研修施設に5年以上所属 ・ 専門医教育講座3回以上受講 ・ 学術大会及び支部学術大会に8回以上参加 ・ 所定の研修を終了していること ・ 指導医2名（内1名は施設長）の推薦が得られること ・ 別に定められるインプラント治療の経験 ・ ケースプレゼンテーション試験に合格 ・ 学術大会での発表 ・ 論文を同学会誌又は委員会が認める外国雑誌に1編以上発表していること 等 専修医 ・ 2年以上継続して学会在籍 ・ 学会指定の研修施設に2年以上所属 ・ 学術大会及び支部学術大会に4回以上参加 ・ 本会の認定講習会の受講 ・ 2年以上経過した5症例を提出 ・ 学会指導医2名（内1名は施設長）の推薦が得られること ・ ケースプレゼンテーション試験に合格していること 等	・ 4年間の学会在籍 ・ インプラント治療の一部を経験 ・ 学術大会参加、発表 ・ 4年間研修施設に所属 ・ 専修医、申請資格の取得	永原教授
日本矯正歯科学会 認定医	・ 申請時に5年以上学会在籍 ・ 指定研修機関における所定の修練を含めて5年以上にわたり相当の矯正歯科臨床経験を有し学会の認めた刊行物に矯正歯科臨床に関連する報告を公表し認定医審査に合格し登録すること	・ 4年間の学会在籍 ・ 臨床経験（年間30例以上（目標）） ・ 研修機関での研修 ・ 臨床報告又は原著論文の発表	北井教授 留 准教授

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本口腔衛生学会 認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国歯科医師免許を有する者 ・ 認定医の申請時において、日本口腔衛生学会会員であり、かつ、通算して3年以上の会員歴を有する者 ・ 口腔衛生学に関する保健活動あるいは臨床に関する経験を、細則に定める単位数10位以上有する者 ・ 口腔衛生学に関連する保健活動あるいは臨床に関する研究および学会の参加経験を詳細に定める単位数研修会参加10単位以上、学会参加10単位以上有する者 ・ 口腔衛生学に関する保健活動あるいは臨床に関する論文、報告等の公表経験を、詳細に定める単位数5単位以上有する者 ・ 学会認定医研修機関において、認定医指導育成指針に基づき日本口腔衛生学会指導医に3年以上の指導・研修を受けた者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 口腔衛生学に関する保健活動あるいは臨床に関する経験の単位取得 ・ 口腔衛生学に関する保健活動あるいは臨床に関する研修および学会参加の単位取得 ・ 口腔衛生学に関する保健活動あるいは臨床に関する論文、報告などの単位取得 	友藤教授 大橋准教授
日本障害者歯科学会 認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国歯科医師あるいは医師の免許を有する者 ・ 認定医の申請時において会員であり、かつ申請時点で通算3年以上の学会会員歴を有する者 ・ 本学会指導医の下で、本学会臨床経験施設において、本学会の定めた障害者歯科の臨床経験を修了した者 ・ 申請時より遡って3年以内に本学会学術大会に出席した経験を持つ者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 臨床経験 (年間20症例以上) ・ 学術大会参加、発表等 	玄 教授 安田 ^(順) 准教授
日本接着歯学会 認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年以上の学会在籍 ・ 日本接着歯学会主催の学術大会、セミナー、シンポジウムの参加 (5年間で3回以上) ・ 学会発表 (筆頭演者1回を含む。2回以上) ・ 学会誌投稿 (筆頭著者1編を含む。2編以上) ・ 接着歯学を活用したケースプレゼンテーション(長期(3年以上)症例1症例、短期症例 3症例) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 学術大会参加、発表 ・ 論文発表 ・ 接着歯学を活用した臨床歯科治療 	堀田教授
日本有病者歯科医療 学会認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国歯科医師の免許を有する者 ・ 認定医申請時において、継続して5年以上学会正会員である者 ・ 学会が規定する有病者に必要とされる歯科医療にかかわる研修内容を満たした者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 学術大会参加、発表 ・ 論文発表 ・ 臨床経験 	高井教授 玄 教授 安田 ^(順) 准教授

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本スポーツ歯科医学会認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時に3年以上の学会在籍 ・5年以上（卒後臨床研修を含む）の臨床歯科診療従事経験を有する者 ・別に定める研修カリキュラムの履修 ・学術大会参加、学会発表 ・試験合格 等	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床歯科診療 ・論文、学会発表 	都尾教授 飯沼教授
日本外傷歯学会認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・学会在籍 ・研修セミナー受講、試験合格 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床経験 	飯沼教授
日本口腔リハビリテーション学会認定医	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時に5年以上学会在籍 ・5年以上の臨床経験 ・関連研究報告を学会学術大会で発表 または日本口腔リハビリテーション学会雑誌に発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学会在籍 ・臨床経験 ・学術大会参加、発表 	藤原教授 山村准教授 長谷川 ^(有) 講師 小川 ^(雅) 講師
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	<ul style="list-style-type: none"> ・本学会会員歴が、2年以上であること ・摂食・嚥下に関わる臨床または研究歴が、通算3年以上であること ・本学会インターネット学習プログラム（以下「e-ラーニング」という）全課程の受講を修了していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学会在籍 ・臨床経験 ・学術大会参加、発表等 ・e-ラーニング受講 	玄 教授 安田 ^(順) 准教授
日本歯科色彩学会認定士	<ul style="list-style-type: none"> ・3年以上の学会の会員歴を有すること ・学会学術大会に3回以上出席していること ・学会が認める学術集会において過去に発表していること ・学会開催の日本歯科色彩学会講習会必修コースを2回受講して、修了証を授与された者 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年以上の学会在籍 ・学会学術大会の参加、発表 ・学会開催の講習会（必修コース）の受講 	堀田教授
日本咀嚼学会健康咀嚼指導士	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上の臨床経験 ・2日間の講習とテスト合格 ・2年以上の咀嚼学会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学会所属 ・臨床歯科治療 	飯沼教授
体育協会公認 スポーツデンティスト	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月1日時点で日本国の歯科医師免許取得後4年を経過（平成24年4月1日以前に取得）しており、以下のいずれかを満たす者のうち、日本歯科医師会および日本体育協会が認めた者 (1)都道府県歯科医師会より推薦された者 (2)日本スポーツ歯科医学会より推薦された者 (3)別に定める選考基準を満たし、日本体育協会加盟競技団体より推薦された者 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床経験 	都尾教授 飯沼教授

資格名	資格申請等の要件	左記の要件のうち本研究科において充足できるもの	指導医
日本口腔ケア学会 認定資格1～5級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4、5級以上の申請資格は医療系の有資格者であり、かつ日本口腔ケア学会の会員であること ・ 3級の申請資格は、会員歴3年以上であること、ならびに口腔ケアについての実施症例30例以上の報告書を作成すること ・ 2級の申請資格は、会員歴5年以上であること、本学会発表1回以上、論文1編以上を有することを受験資格とする ・ 1級の申請資格は、会員歴10年以上であること、本学会発表5回以上、論文発表5編以上でかつ2級合格者を受験資格とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 臨床経験 (年間30症例以上) ・ 学術大会参加、発表等 ・ 論文1編以上 	玄 教授
デンタルマテリアル アドバイザー	<p>以下の歯科材料分野の専門家として認定する。(1)審美歯科器材、(2)予防歯科器材、(3)診療用器材、(4)義歯メンテナンス器材、(5)歯科技工器材、(6)歯科接着材料、(7)インプラント材料、(8)レーザー、(9)マウスガード、(10)アレルギー・生物学的評価、(11)金属材料、(12)無機材料、(13)高分子材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間以上、日本歯科理工学会に会員歴があること ・ 別途定める得点形式の規定により、発表・論文などで過去5年間に5点以上取得すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 学術大会参加、発表 ・ 論文発表 	玉置教授
デンタルマテリアル シニアアドバイザー	<p>認定分類はマテリアルアドバイザーと同じである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年間以上、日本歯科理工学会に会員歴があること ・ 学術講演会並びに学会の認める研修会に過去5年間で5回以上参加していること ・ 別途定める得点形式の規定により、発表・論文などで過去5年間に15点以上取得すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学会在籍 ・ 学術大会参加、発表 ・ 論文発表 	玉置教授

※1 資格ごとで単位取得や臨床実績に係る詳細要件等が定められていますので各学会のHP等を参照ください。

2 本研究科における目標症例数、学会発表数等は教員によって異なるほか患者数や研究の進捗等によっても変わることがあります。

3 指導医は2017年度のもので、2018年度以降変更になることがあります。

(8) 社会人学生の履修例（4年）

履修する曜日は、あくまでも例を示したものであり、具体的には指導教員にご相談ください。

■高度口腔医療科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目		副専攻科目	研究指導	授業料	実習費
4					学位論文 作成	750,000円	50,000円
3					学位論文 作成	750,000円	50,000円
2		〇〇学Ⅳ（2単位）	臨床実習（4単位）	〇〇学Ⅱ（2単位）	研 究	750,000円	50,000円
		〇〇学Ⅲ（2単位）	臨床実習（4単位）	〇〇学Ⅰ（2単位）			
1	歯科医学研究の 基礎（4単位）	〇〇学Ⅱ（2単位）	臨床実習（4単位）		研 究	750,000円	50,000円
		〇〇学Ⅰ（2単位）	臨床実習（4単位）				
修了 要件	4単位	8単位	16単位以上	4単位以上		計3,000,000円	計200,000円

履修方法

1. 歯科医学研究の基礎

毎週1日（木曜日）、4時限目（年間30回×2時間）＝4単位（60時間）

2. 主専攻科目

講義科目：毎週1日（木曜日）、3時限目（半期15回×2時間）＝2単位（30時間）

臨床実習：毎週2日（木曜日・土曜日）、1・2時限目（半期45回×4時間）＝4単位（180時間）

3. 副専攻科目

講義科目：毎週1日（木曜日）、4時限目（半期15回×2時間）＝2単位（30時間）

■口腔生命科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目		副専攻科目	研究指導	授業料
4					学位論文 作成	750,000円
3					学位論文 作成	750,000円
2		〇〇学Ⅳ（4単位）	〇〇学実習Ⅳ（2単位）	〇〇学Ⅱ（2単位）	研 究	750,000円
		〇〇学Ⅲ（4単位）	〇〇学実習Ⅲ（2単位）	〇〇学Ⅰ（2単位）		
1	歯科医学研究の 基礎（4単位）	〇〇学Ⅱ（4単位）	〇〇学実習Ⅱ（2単位）		研 究	750,000円
		〇〇学Ⅰ（4単位）	〇〇学実習Ⅰ（2単位）			
修了 要件	4単位	16単位	8単位以上	4単位以上		計3,000,000円

履修方法

1. 歯科医学研究の基礎

毎週1日（木曜日）、4時限目（年間30回×2時間）＝4単位（60時間）

2. 主専攻科目

講義科目：毎週2日（木曜日・土曜日）、3時限目（半期30回×2時間）＝4単位（60時間）

実習科目：毎週2日（木曜日・土曜日）、1・2時限目（半期23回×4時間）＝2単位（90時間）

3. 副専攻科目

講義科目：毎週1日（木曜日）、4時限目（半期15回×2時間）＝2単位（30時間）

(9) 長期履修学生の履修例（標準修業年限7年の場合）

■高度口腔医療科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目	副専攻科目	研究指導	授業料	実習費
7				学位論文作成	428,580円	28,580円
6				学位論文作成	428,580円	28,580円
5				臨床実習Ⅳ（4単位）		
5			〇〇学Ⅱ（2単位）	研究	428,580円	28,580円
4		〇〇学Ⅳ（2単位）		臨床実習Ⅲ（4単位）		
4			〇〇学Ⅰ（2単位）	研究	428,580円	28,580円
3		〇〇学Ⅲ（2単位）		臨床実習Ⅱ（4単位）		
3				研究	428,580円	28,580円
2	歯科医学研究の基礎（4単位）	〇〇学Ⅱ（2単位）		研究	428,580円	28,580円
1		〇〇学Ⅰ（2単位）		臨床実習Ⅰ（4単位）		
1				研究	428,580円	28,580円
修了要件	4単位	8単位	16単位以上	4単位以上	計3,000,060円	計200,060円

履修方法

1. 歯科医学研究の基礎

毎月1日（木曜日）、4時限目（30回×2時間）= 4単位（60時間）

2. 主専攻科目

講義科目：毎月1日（木曜日）、3時限目（12回×2時間）+集中6時間= 2単位（30時間）

臨床実習：毎月2日（木曜日・土曜日）、1・2時限目（36回×4時間）+集中36時間= 4単位（180時間）

3. 副専攻科目

講義科目：毎月1日（木曜日）、4時限目（12回×2時間）+集中6時間= 2単位（30時間）

■口腔生命科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目	副専攻科目	研究指導	授業料
7				学位論文作成	428,580円
6				学位論文作成	428,580円
5				〇〇学実習Ⅳ（2単位）	
5			〇〇学Ⅱ（2単位）	研究	428,580円
4		〇〇学Ⅳ（4単位）		〇〇学実習Ⅲ（2単位）	
4			〇〇学Ⅰ（2単位）	研究	428,580円
3		〇〇学Ⅲ（4単位）		〇〇学実習Ⅱ（2単位）	
3				研究	428,580円
2	歯科医学研究の基礎（4単位）	〇〇学Ⅱ（4単位）		研究	428,580円
1		〇〇学Ⅰ（4単位）		〇〇学実習Ⅰ（2単位）	
1				研究	428,580円
修了要件	4単位	16単位	8単位以上	4単位以上	計3,000,060円

履修方法

1. 歯科医学研究の基礎

毎月1日（木曜日）、4時限目（30回×2時間）= 4単位（60時間）

2. 主専攻科目

講義科目：毎月2日（木曜日・土曜日）、3時限目（24回×2時間）+集中12時間= 4単位（60時間）

実習科目：毎月2日（木曜日・土曜日）、1・2時限目（23回×4時間）= 2単位（90時間）

3. 副専攻科目

講義科目：毎月1日（木曜日）、4時限目（12回×2時間）+集中6時間= 2単位（30時間）

7. 長期履修制度

本研究科においては、大学院設置基準第15条に定める長期履修制度を導入しています。

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（4年）での履修が困難な方を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。

(1) 申請資格

長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限（4年）では大学院の教育課程の履修が困難な方に限ります。

* 職業を有している等とは、有職者（正規職員以外を含み、主としてその収入で生計を立てている方）及び出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、フルタイム学生としての修学が困難な事情にある方をいいます。

(2) 申請手続時期

歯学研究科入学試験の出願時又は入学後2年未満に申請してください。

(3) 申請手続書類

- ア. 長期履修許可願
- イ. 長期履修計画書
- ウ. 在職（予定）証明書（所定）又は就業が確認できる書類（該当者のみ）

(4) 長期履修を認める期間

長期履修を認める期間は、6年ないし7年とします。ただし、在学年限は、既に在学した期間を含めて、全体で8年を超えることはできません。

(5) 授業料

長期履修学生の授業料の総額は、フルタイム学生と同じ4年間分（標準修業年限分）の金額です。

毎年度納付する授業料は、4年間分の金額を6年又は7年（長期履修を認める期間）で除した額（その額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとします。）となります。

(6) 授業の履修計画

授業の履修及び単位の取得については、指導教員の指導を受け、計画的な授業履修及び単位取得を行ってください。

長期履修制度についてのQ & A

Q1 長期履修制度による履修を希望する場合は、事前に指導教員（予定）とコンタクトをとる必要はありますか。

A1 長期履修学生の授業科目の履修方法は、一般の学生と異なる場合がありますので、事前に指導教員（予定）とよく相談をし、履修期間を何年間とするのかを決めてください。

Q2 私は病院の勤務医ですので長期履修学生を希望していますが、入学後、ある時期に仕事を辞めて、学業に専念しようとした場合、一般の学生と同じ履修方法に変更は可能でしょうか。

A2 可能です。その際は、指導教員の承認を得て、変更の申請をしていただく必要があります。また、その逆に、一般の学生が、入学後に職業を持つこと等の理由により長期履修に変更したいという場合も、入学後2年未満であれば変更可能です。

Q3 長期履修学生で在学し、途中で、その身分のまま履修年限を短縮したいという場合、その変更は可能でしょうか。

A3 可能です。ただし、課程の修了に必要な単位を修得（修得見込みを含む。）している場合で、学位論文の指導を受けるに必要な期間が確保できる場合に限りです。

Q4 私は歯科医院を開業していますが、博士の学位を取得したいと思っています。長期履修学生となった場合、どのような方法により、授業科目を履修するのでしょうか。

A4 大学に月1～2回程度来ていただき、講義・臨床実習を履修する場合、5年間で課程の修了に必要な単位の修得が可能です。残りの2年間で論文指導を受け、学位論文を完成させることとなります。また、学内外で行われる研修会等への参加、本学以外の病院等での臨床実習も、授業の一部として認定される場合もありますので、無理なく授業科目の履修ができます。

Q5 歯学部研究生となって、いずれは博士の学位を取得したいと思っていますが、研究生の身分で学位の申請ができますか。

A5 これまでは、研究生となって、所定の研究歴を満たした者については、論文博士の学位申請を受理してきました。2010年度から、長期履修制度を導入したことに伴い、職業を有する方で学位の取得を希望する場合は、大学院の長期履修学生となっていただくこととなります。なお、既に研究生の身分で在学している方は、従来のおりの扱いとなります。

A

2018年度 朝日大学大学院歯学研究科 入学願書

※受験番号

ふりがな				性 別	男 ・ 女
氏 名					
生年月日	(西暦) 年 月 日生 (満 歳)				
入試区分	一 般 ・ 社 会 人 ・ 長 期 履 修 学 生 (○で囲む)				
志望する 主専攻科目・ 指導教員名			志望するコース (志望コースに☑)	<input type="checkbox"/> 高度口腔医療科学	
				<input type="checkbox"/> 口腔生命科学	
出願資格	年 月 日				
	大学 学部 学科 卒業 ・ 卒業見込				
	年 月 日				
	大学大学院 研究科 課程 専攻 修了 ・ 修了見込				
現住所 (連絡先)	郵便番号 — ☎ () —				

記入上の注意

※印の箇所は記入しないでください。

払込金額	¥	2	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---

取扱銀行
収納印

履 歴 書

氏 名	
学 歴	
年 月	高等学校 卒業
年 月	大学 学部 学科 入学
年 月	大学 学部 学科 卒業・卒業見込
年 月	臨床研修修了・修了見込 (病院)
年 月	
年 月	
年 月	
職 歴	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
賞 罰	
年 月	
年 月	
歯科医師又は医師の免許 (該当者のみ)	
年 月	第 回 歯科医師国家試験合格 (歯科医籍登録番号 第 号)
年 月	

B 2018年度 入学検定料振込金領収書

依頼日	年 月 日
入試区分	大学院歯学研究科
金額	¥ 20,000
先方銀行	大垣共立銀行穂積支店 普通預金86596
受取人	学校法人 朝日大学
依頼人 (志願者) 氏名	

左記のとおり振込金として受取りました。



銀行

この受領書は本学の領収書にかかわるものですから大切に保管してください。(振込人控)

取 扱 銀 行 取 扱 銀 行 取 扱 銀 行

C 2018年度 入学検定料振込依頼書

依頼日	年 月 日	電 信 扱	手数料
先方銀行	大垣共立銀行 穂積支店	金額	¥20,000
普通預金	No.86596	振込金額の訂正は無効とする。	
受取区分	学校法人 朝日大学 大学院歯学研究科	取扱銀行 収納印	
依頼人 (志願者) 氏名			
住所	TEL() -		

検印	担当印	受付印

(取扱店保管)

◎取扱銀行へお願い

1. **A**～**C**票へ収納印を押印し、**A**・**B**票は依頼人にお返しください。
2. **B**・**C**票の太線の氏名・住所等記入もれがないか確認してください。

2018年度 朝日大学大学院歯学研究科 受験票

受験番号	※		
ふりがな			
氏名			
生年月日	(西暦) 年 月 日	性別	男・女
入試区分	一般・社会人・長期履修学生 (○で囲む)		
志望する 主専攻科目	志望する コース	<input type="checkbox"/> 高度口腔医療科学 <input type="checkbox"/> 口腔生命科学	
試験 日	試験 科目		
試験 日	I 期	II 期	
試験 日	2018年 1月20日(土)	2018年 3月3日(土)	
学 力 検 査	時 間	試 験 科 目	
	9:00～11:30	英 語(一般入試のみ)	
	11:50～12:50	主専攻科目(筆記試験)	
	14:00～15:00	主専攻科目(口述試験)	

(切りはなさないこと)



2018年度 朝日大学大学院歯学研究科 写真票

受験番号	※		
ふりがな			
氏名			
性別	男・女		
生年月日	(西暦) 年 月 日		
(写真貼付欄) (縦 4 cm × 横 3 cm)			

(注) ※印の箇所は記入しないでください。

1. ※印の箇所は記入しないでください。
2. 試験開始後30分以上遅刻した者は受験できません。

在 職（ 予 定 ） 証 明 書

氏 名	
生年月日	(西暦) 年 月 日
現住所	〒 - TEL: () -
職 種	
就業年月日	(西暦) 年 月 日

上記のとおりであることを証明します。

(西暦) 年 月 日

事業所所在地：

事業所名称：

代 表 者：



長期履修許可願

年 月 日

歯学研究科長 殿

志望コース (志望コースに☑)	<input type="checkbox"/> 高度口腔医療科学
	<input type="checkbox"/> 口腔生命科学
主専攻科目	
受験番号/学籍番号	
ふりがな	
氏 名	(印)
生年月日	(西暦) 年 月 日生
現住所	(〒 -)
連絡先(電話番号)	

下記の理由により、長期履修を希望したいので許可願います。

記

入学年度(予定)	_____年度		
長期履修計画年数	(計画年数) _____年 (期間) _____年4月1日～ _____年3月31日		
【4年の標準修業年限で歯学研究科の教育課程修了ができない理由】			
勤務先	名称		職種
	住所		
指導教員の意見		指導教員 氏名 _____ (印)	

長期履修計画書

コース(志願)名 (いずれかに○を付す)	高度口腔医療科学 ・ 口腔生命科学
主専攻科目・指導教員	(指導教員氏名)
受験番号/学籍番号	
ふりがな	
氏 名	
研 究 課 題	

研究計画

高度口腔医療科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目		副専攻科目	研究指導
	講 義	講 義	臨床実習	講 義	
7					学位論文作成
6					学位論文作成
5					研 究
4					研 究
3					研 究
2					研 究
1					研 究
修了要件	4単位	8単位	16単位以上	4単位以上	

口腔生命科学コース

年次	共通教育科目	主専攻科目		副専攻科目	研究指導
	講 義	講 義	実 習	講 義	
7					学位論文作成
6					学位論文作成
5					研 究
4					研 究
3					研 究
2					研 究
1					研 究
修了要件	4単位	16単位	8単位	4単位以上	

(注) 指導教員の指導を受けた後、履修例に従い、授業科目名を履修する年次欄に記入してください。

身元保証書

LETTER OF GUARANTEE

朝日大学 学長 殿
To : The President of Asahi University

学生氏名
Name of student : _____

国 籍
Nationality : _____

生年月日
Date of birth : _____

私は、上記の者が朝日大学歯学部研究科外国人留学生として本邦在留中、責任をもって下記事項を保証します。

I bear responsibility for the following matters while the above named student is staying in Japan as a Foreign Student of Asahi University, Graduate School of Dentistry.

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
To ensure that the student's time is devoted primarily to academic pursuits.
2. 本人が学費、生活費及び帰国旅費を支払えない時の負担
To bear all school fees, and living and return expenses in the event that the student is unable to do so.
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け
To ensure that the student should obey the laws and regulations of the government of Japan all the time.

保証人氏名 Guarantor's full name	
本 籍 地 Permanent address	
現 住 所 Present address	
電 話 番 号 Telephone number	
職 業 (詳細に) Occupation (in detail)	
本人との関係 Relationship with the student	
在留資格 (外国籍の者のみ) Status of residence (the foreign family register, if any)	

日 付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 署 名 _____
Date : _____ Signature : _____ 

※ 保証人は、留学生が卒業するまでの学費及び生活費等を保証できる者であること。
Guarantor should guarantee a foreign student's all school fees and living expenses till the student graduates.

経費支弁書

日本国法務大臣 殿

国籍 _____

氏名 _____

年 月 日生 (男・女)

私は、このたび上記の者が日本国に ^{在 留 中} _{入国した場合} の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引受け経緯を説明するとともに経費支弁について証明します。

記

- 1 経費支弁の引受け経緯 (申請者の経費支弁を引受けた経緯及び申請者との関係について具体的に記載してください。)

.....
.....
.....
.....
.....

- 2 経費支弁内容

私 _____ は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。

また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳 (送金事実、経費支弁事実が記載されたもの) の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

記

(1) 学 費 半年、年間 _____ 円

(2) 生 活 費 月額 _____ 円

(3) 支 弁 方 法 (送金・振込み等支弁方法を具体的に書いてください。)

.....
.....
.....
.....

年 月 日

経費支弁者

住 所 〒 _____

TEL _____

氏 名 (署名) _____ (印)

学生との関係 _____

■試験場〔朝日大学〕



所在地：岐阜県瑞穂市穂積1851

交通機関

- ・ JR東海道本線 穂積駅下車(名古屋駅から新快速で24分)、朝日大学スクールバスで約5分
- ・ JR東海道新幹線 岐阜羽島駅下車、車で約20分
- ・ 自家用車 名神・岐阜羽島I.Cから約30分
名神・大垣I.Cから約30分

■問い合わせ先

朝日大学大学院歯学研究科
学事部学事一課大学院係

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851
TEL (058) 329-1072 (ダイヤルイン)
FAX (058) 329-1069